

民生協議会協議事項

〔 日時 令和3年10月21日(木)
午前10時
場所 第三委員会室 〕

○ 所管事項の報告について

- 1 八戸市不育症検査費用助成事業の実施について
- 2 新型コロナワクチンの接種状況について
- 3 陸上自衛隊八戸駐屯地所在部隊の改編について
- 4 令和3年10月6日発生地震について
- 5 地域の安全・安心を実感できるまちづくり連携協定の締結について

八戸市不育症検査費用助成事業の実施について

1. 事業目的

現在、研究段階にある不育症検査のうち、保険適用を見据え先進医療として実施されるものを対象に、不育症検査に要する費用の一部を助成することにより、不育症の方の経済的な負担軽減を図る。

2. 不育症について

不育症とは、妊娠は成立するものの、2回以上の流産、死産あるいは早期新生児死亡の既往がある場合のことをいい、不育症の原因は、胎児（受精卵）の偶発的な染色体異常が原因の場合や、両親どちらかに原因がある場合などがある。

3. 助成対象者

2回以上の流産、死産既往がある八戸市民の方

4. 対象となる検査及び助成額

<対象となる検査>

先進医療として告示されている不育症検査とし、保険適用されている不育症に関する治療・検査を実施している医療機関で検査した場合。

※対象となる検査は、令和3年9月末現在「流産検体を用いた染色体検査」

<助成額>

1回当たり5万円を上限とする。

5. 事業費

不育症検査助成事業 500千円 (9月補正予算に計上し議決済)

6. 実施医療機関

①当該不育症検査の実施機関として国へ届出済の保険医療機関

(国庫補助事業) 該当する医療機関は全国62か所、うち青森県1か所(9/15現在)

②当該不育症検査を実施しているが、国へ届出をしていない市内に所在する保険医療機関

(市単独事業) 該当する医療機関は4か所

7. 適用時期

令和3年10月1日以降実施の検査から適用

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

1. 接種状況（令和3年10月20日現在）

対象者の年代	1回目	2回目
65歳以上	66,090人 (90.7%)	65,181人 (89.4%)
60～64歳	13,277人 (86.7%)	11,086人 (72.4%)
50～59歳	26,729人 (84.2%)	21,226人 (66.8%)
40～49歳	24,411人 (80.8%)	18,182人 (60.2%)
30～39歳	17,044人 (76.7%)	12,250人 (55.1%)
20～29歳	13,812人 (75.1%)	9,918人 (53.9%)
12～19歳	11,877人 (75.6%)	6,015人 (38.3%)
合計	173,240人 (83.9%)	143,858人 (69.7%)

※ワクチン接種記録システム（VRS）に記録されたデータによる集計

2. 接種の見通し

11月中旬に、対象市民の8割以上が2回の接種を完了する見通し。

※各職域接種、県営広域接種（八戸会場）を含む推計

3. 今後の進め方

(1) ワクチン供給及び接種スケジュール

国からの定期的なワクチン供給が終了したため、現在の接種体制を順次終了する。

- ・個別接種 … 11月末までに医療機関ごとに順次終了
- ・集団接種 … 10月22日で終了（こどもワクチンデーのみ10月末の土日まで）

※各職域接種は10月中旬までに、県営広域接種は11月14日でそれぞれ終了

(2) 今後の接種体制

まだ2回接種が終わっていない方に引続き接種できるよう、11月以降、日時を限定して集団接種を実施する。

- ① 実施日時 令和3年11月以降の毎週土曜日午後
※11月6日を初回とし当面の間実施（ただし1月1日は除く）
※各回14時から1～2時間実施（接種希望者数に応じ調整）
- ② 実施場所 八戸市総合保健センター1階大ホール
※八戸市立市民病院の医師及び看護師が従事
- ③ 受付方法 コールセンターへの相談または市HPでの接種希望登録による

(3) 追加接種（3回目）に向けた準備

2回目の接種からおおむね8ヶ月以上経過した者を対象に実施することとされたことを踏まえ準備を進める。年内に医療従事者、年明けに高齢者への接種を開始する見込み。

陸上自衛隊八戸駐屯地所在部隊の改編について

1. 概要

- ・防衛省では、平成30年12月に策定した「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」に基づき、南西地域の防衛体制強化を進めている
- ・八戸駐屯地所在部隊については、令和4年度に第4地対艦ミサイル連隊の1個中隊及び整備部隊の一部を廃止予定

2. 定員

- ・令和3年度末：約1,500人
- ・令和4年度末：約1,430人

(参考) 八戸駐屯地の定員推移

	令和3年度	令和4年度(見込)
主要部隊等	・第9施設大隊 ・第9後方支援連隊 ・ <u>第4地対艦ミサイル連隊</u> <u>(2個中隊)</u> ・第101高射特科隊 等	・第9施設大隊 ・第9後方支援連隊 ・ <u>第4地対艦ミサイル連隊</u> <u>(1個中隊)</u> ・第101高射特科隊 等
定員	約1,500人	約1,430人

※ 下線部が改編対象

令和3年10月6日発生地震について

1 地震に関する情報

(1) 発生日時

令和3年10月6日（水）02:46頃

(2) 震源

震源地 岩手県沖（北緯40.0度、東経142.3度）

震源の深さ 56km

規模 マグニチュード5.9

(3) 震度

八戸市内丸 震度5弱

八戸市南郷 震度5弱

八戸市湊町 震度4

八戸市島守 震度3

(4) 津波に関する情報

津波注意報等発表なし

2 対応状況

(1) 広報

防災行政無線 : 緊急地震速報、地震情報を放送

ほっとスルメール : 震度速報、地震情報を配信

市ホームページ : 震度速報、地震情報を掲載

(2) 災害警戒本部

02:46設置、16:30廃止

(3) その他

市立小・中学校を休校（通学路及び校舎内外の安全等を考慮）

3 被害状況等

区分	被害の状況
(1) 人的被害	軽傷1名（60代女性）
(2) 建物被害	住家：なし 非住家：1件（小屋の外壁倒壊）
(3) ライフライン	電気：被害なし ガス：被害なし 水道：被害なし 東北新幹線：平常どおり JR八戸線：一部運休（09:00平常運行） 青い森鉄道：一部運休（07:27平常運行） 八戸久慈自動車道：一部通行止め（07:15規制解除）

地域の安全・安心を実感できるまちづくり連携協定の締結について

1 協定締結の目的

八戸市内における犯罪の未然防止、犯人の早期検挙及び子ども・女性の安全確保などに極めて有効な防犯カメラを必要な箇所に設置し、地域の防犯環境を向上させることにより、安全・安心を実感できるまちづくりの実現を目指すことを目的とする。

2 協定締結の相手方

八戸地区連合防犯協会 副会長 橋本 精二
株式会社ユニバース 代表取締役社長 三浦 建彦

3 協定の概要

八戸地区連合防犯協会の防犯カメラ設置促進事業において、株式会社ユニバースが、地域の一員として防犯カメラの被貸与団体となり設置場所を無償で提供し電気料金を負担するもの。

4 締結年月日

令和3年10月19日（火）